

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N
1														ページ
2	平成26年9月30日判決言渡 同日原本領収 裁判所書記官片桐純也													p1
3	平成22年(ワ)第1668号 損害賠償請求事件													
4	口頭弁論終結日 平成26年5月8日													
5														
6	判 決													
7														
8	原告	柳沼英夫												
9	訴訟代理人弁護士	高橋宏 阪田勝彦 高橋由美 川本美保												
10	被告	神奈川県 代表者知事 黒岩祐治												
11	訴訟代理人弁護士	北田幸三												
12	訴訟復代理人弁護士	島崎友樹 武藤一久 櫻庭史子												
13	指定代理人	瀬高真一郎 田村仁 小井朗 小川友樹 羽太美孝 八木澤修 柳田篤 皆川直毅 北島芳文												
14	同	望月大造												p2
15														
16	主 文													
17	1 原告の請求を棄却する。													
18	2 訴訟費用は、原告の負担とする。													
19														
20														
21	事実及び理由													
22														
23	第1 請求													
24	被告は、原告に対し、4634万0129円及びこれに対する平成16年10月18日から支払済みまで年5分の割合による金員を支払え													
25	第2 事案の概要													
26	本件は、県立高等学校の美術担当教諭であった原告が、勤務していた神奈川県立保土ヶ谷高等学校で・・・													
27	1 前提事実(争いのない事実、証拠(甲5、乙1、10、11)及び弁論の全趣旨により容易に認められることのできる事実)													
28	(1) 当事者													
29	ア 原告は、昭和56年10月に・・・													
30	イ 被告は、本件高校の設置、管理をしている。													p3
31	(2) 本件防水工事等													
32	ア 本件高校の校舎は、北棟(3階建て)、南棟、西棟(5階建て)及び中央棟の各建物から・・・													
33	イ 本件防水工事は、屋上の防水層(防水塗装)を剥がした後に、ウレタン塗膜防水を・・・													
34	ウ 本件高校の屋上のスラブ(コンクリート床)には、多数のクラックが存在していた・・・													
35	エ 北棟における本件防水工事の範囲は、別紙1の「屋階平面図」の赤線で・・・													p4
36	オ 本件高校の北棟3階の各教室及びそれらの天井裏は、・・・													
37	(3) 教室等の閉鎖													p5
38	ア 本件高校の音楽科教諭の・・・													
39	イ 校長は、平成17年4月23日、北棟3階諸室(音楽室、書道室、視聴覚室、美術室及び・・・													
40	ウ 校長は、同月26日、西棟5階及び南棟5階の使用を中止した。													
41	(4) 対策工事の実施													
42	被告の依頼を受けた施工業者は、平成17年7月21日、・・・													
43	(5) シックハウス症候群等及び公務災害													
44	ア シックハウス症候群													
45	イ 化学物質過敏症													p6
46	ウ 本件本校の音楽科教諭の・・・													
47	(6) キシレン等原因物質の気中濃度の検査													
48	被告は、本件事故の原因究明にあたって、主にアクティブ法、フレック法、小型チャンバー法の・・・													
49	(7) 「学校環境衛生の基準」等(甲5、乙11)													
50	ア 学校環境衛生活動													
51	イ 判定基準													p7
52	ウ 定期検査の検査方法													
53	(ア) 測定する教室においては、採取前に30分以上換気をした後、5時間以上密閉してから採取を行													
54	(イ) 測定は、固相吸着/溶媒抽出法、固相吸着/加熱脱着法、容器採取法の3種の方法的にい													p8
55	2 争点													
56	本件の争点は、(1)、(2)、(3)、(4)であり、各争点に対する当事者の主張は・・・													
57	(1) 争点(1) (本件事故による原告のVOC被曝と原告の発症との因果関係)について													
58	[原告の主張]													
59	ア 化学物質過敏症の因果関係の判断枠組み													
60	イ 原告がシックビルディング症候群または化学物質過敏症に罹患していること													
61	(ア) 診断基準について													
62	a 主症状													p9
63	(a) 持続あるいは反復する頭痛													
64	(b) 筋肉痛あるいは筋肉の不快感													
65	(c) 持続する倦怠感、疲労感													
66	(d) 関節痛													
67	b 副症状													
68	(a) 咽頭痛													
69	(b) 微熱													

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N
1														ページ
70							(c) 下痢・腹痛・便秘							
71							(d) 羞明(まぶしさ)・一過性の暗点							
72							(e) 集中力・思考力の低下、健忘							
73							(f) 興奮、精神不安定、不眠							
74							(g) 皮膚のかゆみ、皮膚異常							
75							(h) 月経過多などの異常							
76							c 検査所見							
77							(a) 副交感神経刺激型の瞳孔異常							
78							(b) 視覚空間周波数特性の明らかな閾値低下							
79							(c) 眼球運動の典型的な異常							p10
80							(d) SPECTによる大脳皮質の明らかな機能低下							
81							e 誘発試験の陽性反応							
82							(イ) 原告の診断について							
83							原告は、平成18年9月14日、北里研究所病院において宮田幹夫医師の…							
84							ウ 原告のVOCの被曝							p11
85							(ア) 原告の勤務場所等							
86							a							
87							b							
88							c							p12
89							(イ) 本件防水工事直後のVOC濃度							
90							a							
91							b							
92							c							p13
93							d							
94							(ウ) 以上の通り、原告の勤務場所では、							
95							エ 以上によれば、原告のVOV暴露と原告の発症との間に因果関係を認めることができる。							p14
96							[被告の主張]							
97							ア 原告のVOC被曝について							
98							(ア) 本件防水工事開始後から平成17年4月23日の北棟3階閉鎖に至るまで…							
99							(イ) さらに、北棟3階のホールにおける防水工事の直下にあたる部分は…							p15
100							(ウ) また、平成16年9月から平成17年4月23日までの間に原告が鍵当番のために…							
101							(エ) なお、株式会社ダイヤ分析センター作成の平成17年3月29日付け報告書…							p16
102							(オ) 以上のように、原告が指針値を超えるような被曝をする可能性は…							
103							イ 原告の症状の推移							
104							音楽教諭及び書道教諭が平成16年11月上旬ころには…							
105							ウ 原告に対する化学物質過敏症との診断の問題点							p17
106							(ア) 化学物質過敏症という疾病は、一般的な医学的知見として…							
107							(イ) 原告は、本件診断基準により、化学物質過敏症と診断されたと主張するが、…							
108							a							
109							b							p18
110							c							
111							(ウ) さらに、本件診断基準に照らしても、…							
112							エ 身体表現性自律神経機能不全(自律神経失調症)							p19
113							オ 化学物質過敏症の他の原因							
114							(2) 争点(2)(安全配慮義務違反の有無)について							
115							[原告の主張]							
116							ア 被告の安全配慮義務							
117							(ア) 労働安全衛生法に基づく環境測定義務及び事後措置実施義務							
118							(イ) 「学校環境衛生の基準」に基づく検査実施義務							p20
119							a 引渡し前の検査実施義務							
120							b 臨時検査実施義務							p21
121							c 事後措置実施義務							
122							イ 予見可能性							
123							(ア) 被告は貫通クラックの存在を容易に認識しえたこと							
124							(イ) 被告の検査実施義務違反							p22
125							(ウ) 同僚教職員、生徒らの健康被害							
126							(エ) 健康被害調査の実施義務違反							
127							(オ) 被告は類似事案の調査、情報収集義務を怠った							p23
128							(カ) 以上のことからすれば、被告は、本件防水工事由来の化学物質により、…							
129							ウ 結果回避義務違反							
130							(ア) 被告は直ちに調査し、必要な事後措置を講じるべきであったこと							
131							(イ) 工事期間中の授業を継続したこと							
132							(ウ) 直ちに北棟の使用中止を決定すべきであったこと							p24
133							(エ) 被告は抜本的な対策を取らなかったこと							
134							(オ) 工事範囲を警告しなかったこと							
135							(カ) 本件対策工事の実施が遅れたこと							
136							(キ) 以上の通り、被告は、原告の発症の結果を回避する義務があったにもかかわらず…							
137							[被告の主張]							p25
138							ア 厚生労働省の指針値							
139							イ 安全配慮義務の内容							

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N
1														ページ
140					(ア) 原告個人の生命・健康に対し、被告がいかなる安全配慮義務を負うかにつき、…									
141					(イ) 以下、各時点における義務発生の有無を検討する。									p26
142						a								
143						b								
144						c								
145					(ウ) 以上の通り、原告の勤務場所では、いずれの時点においても、…									
146				ウ 原告の主張について										p27
147					(ア) 安全配慮義務について									
148					(イ) 屋上スラブのクラックについて									
149					(ウ) 引渡し前の検査実施義務及び臨時検査実施義務について									p28
150					(エ) 事後措置について									
151					(オ) 屋上防水補修工事の実施時期について									p29
152					(3) 争点(3)〔設置または管理〕の瑕疵の有無について									
153					[原告の主張]									
154					本件高校の校舎は、本件防水工事によって、有害なVOCが付合し、かつ教室内にまで放散…									
155					[被告の主張]									
156					前記(2)アのとおり、室内濃度指針値及びTVOC暫定基準値の意義からすれば、…									
157					(4) 争点(4)〔損害の有無〕について									p30
158					[原告の主張]									
159					ア 治療費									
160					(ア)									
161					(イ)									
162					(ウ)									
163					イ 通院慰謝料									
164					ウ 後遺障害に基づく損害									
165					(ア) 後遺障害等級第9級に相当すること									p31
166					(イ) 後遺症慰謝料									
167					(ウ) 後遺障害逸失利益									
168					エ 弁護士費用									
169					[被告の主張]									p32
170					原告の主張は争う。原告は、労働能力喪失率が35パーセントにも及ぶような後遺障害を…									
171					第3 争点に対する判断									
172					1 認定事実									
173					(1) 本件防水工事の内容 (甲47、弁論の全趣旨)									
174					ア 本件防水工事は、劣化した既存防水シートを撤去したうえで、ウレタン塗膜防水を…									
175					イ 本件防水工事の委託を受けた施工業者は、下地処理作業として、…									
176					(ア) クラック補修について									p33
177					(イ) 下地処理層について									
178					ウ 本件施工業者は、平成16年9月15日から同月28日までの間に、防水層新設作業として、…									
179					(2) 被告は、当初、本件防水工事中の発生した異臭を									
180					(3) 本件事故に対する被告又は本件高校の対応等									p34
181					ア 原告ら芸術科教員は、本件防水工事の期間中から…									
182					イ 原告ら芸術科教員は、天井裏の検査を要請していたところ、…									
183					ウ 本件高校は、平成16年11月8日、被告に対し、音楽室及び書道室の臭い対策について…									
184					エ 平成16年11月17日に実施したTVOC調査									
185					オ 被告は、平成16年11月30日、保全協会に対し、再度、天井内空気換気用ダクトの設置を…									
186					カ 平成16年12月1日に実施した学校薬剤師による調査									p35
187					キ 音楽室及び書道室の閉鎖									
188					ク 平成16年12月9日に実施したVOC測定									
189					ケ 平成17年1月31日に実施したVOC検査									
190					コ 平成17年2月15日に実施したアクティブ法による測定									p36
191					サ 平成17年2月25日及び同月28日に実施したフレック法による測定									
192					シ 本件防水工事で使用された材料からの化学物質放散量の測定									p37
193					ス 北棟3階諸室の閉鎖									
194					セ 西棟5階及び南棟5階の閉鎖									
195					ソ 平成17年4月28日に実施したアクティブ法による測定									
196					タ 平成17年6月24日に実施したアクティブ法による測定									p38
197					チ 平成17年7月24日以降の測定									
198					ツ 各測定結果									
199					テ 健康調査									
200					本件高校は、多数の生徒が体調不良を訴えたことから、平成17年5月19日、全校生徒を…									
201					(4) 原告の勤務状況及び本件事故に係る活動									p39
202					ア 原告の勤務状況									
203					(ア) 本件防水工事が開始された平成16年9月から平成17年4月23日までの間、…									
204					(イ) 原告は、美術室等に行くために北棟3階のホールを通行することがあった。									
205					(ウ) 原告は、美術室に加え、音楽室及び書道室の清掃監督を担当し、…									
206					(エ) 原告は、平成17年4月26日に西棟5階が使用中となるまで、鍵当番…									
207					(オ) 原告は、平成17年4月23日に北棟3階が使用中中止になった後、美術室…									
208					イ 原告の本件事故に係る活動									p40
209					(ア) 原告ら芸術科教員は、平成16年10月8日、事務長に対し、異臭の原因を…									

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N
1														ページ
210					(イ)									p41
211					(ウ)									
212					(エ)									
213					(5) MCS(多種化学物質過敏症)について(甲12、乙									p42
214					ア Cullenの提唱									
215					①	証明可能な環境由来の暴露、傷害、または疾病に関連して発現する後天性の障害である。								
216					②	複数の臓器に症状が発現する。								
217					③	原因と思われる刺激に反応して症状が再発及び軽減する。								
218					④	化学構造と中毒作用が多様な化学物質の暴露により症状が誘発される。								
219					⑤	(低レベルであるが)証明可能な化学物質暴露により症状が生じる。								
220					⑥	非常に低い、すなわち人体に有害な反応を起こすことが知られている「平均」暴露量より								
221						数標準偏差値以上も低い暴露により症状が生じる。								
222					⑦	広く使われているいずれの身体機能検査でも症状が説明できない。								
223					イ 米国1999年合意事項									
224					①	慢性疾患である								
225					②	再現性を持って現れる症状を有する								
226					③	微量な物質への暴露に反応を示す								
227					④	関連性のない多種類の化学物質に反応を示す								
228					⑤	原因物質の除去で改善又は治癒する								
229					⑥	症状が多くの器官・臓器にわたっている								
230					ウ MCSに関する臨床研究報告									
231					MCSとして報告されている症状は多彩である。...									
232					(6) 化学物質過敏症について(甲14、乙19)									
233					ア 平成8年度の厚生科学研究「化学物質過敏症に関する研究」において、...									
234					イ 平成8年に旧厚生省長期慢性疾患総合研究事業アレルギー研究班が組織され、...									
235					(ア)	他の慢性疾患が除外されることが大前提である。								
236					(イ)	主症状								
237					①	持続あるいは反復する頭痛								
238					②	筋肉痛あるいは筋肉の不快感								
239					③	持続する倦怠感、疲労感								
240					④	関節痛								
241					(ウ)	副症状								
242					①	咽頭痛								
243					②	微熱								
244					③	下痢・腹痛・便秘								
245					④	羞明、一過性の暗点								
246					⑤	集中力、思考力の低下、健忘								
247					⑥	興奮・精神的不安定、不眠								
248					⑦	皮膚のかゆみ、感覚異常								
249					⑧	月経過多などの異常								
250					(エ)	検査所見								
251					①	副交感神経刺激型の瞳孔異常								
252					②	視覚空間周波数特性の明らかな閾値低下								
253					③	眼球運動の典型的な異常								
254					④	SPECTによる大脳皮質の明らかな機能低下								
255					⑤	誘発試験の陽性反応								
256					(オ)	上記の主症状2項目及び副症状4項目か、主症状1項目、副症状6項目及び...								
257					ウ 厚生労働省主催の研究会である室内空気室健康影響研究会は、平成16年に刊行した...									
258					(ア)	非アレルギー性の過敏状態としてのMCSについて								
259					①	環境中の種々の低濃度化学物質に反応し、精神・身体症状を示す...								
260					②	さまざまな症状が科学物質への暴露によって惹起されるが、基本となる...								
261					③	化学物質の暴露による疾患ではなく、身体疾患や精神疾患を...								
262					④	化学物質の暴露を全く受けていないにもかかわらず、ある特定の...								
263					(イ)	化学物質過敏症の診断および解釈等の問題点								
264					a	本件診断基準においては、他の慢性疾患が除外されることが...								
265					b	化学物質過敏症と診断するための臨床検査として、...								
266					(7) 原告の症状									
267					ア 有機溶剤健康診断									
268					被告は、平成17年7月5日から同月29日までの間に、本件高校の数職員を対象に...									
269					イ やまさわメンタルクリニック									
270					原告は、平成17年11月29日、...									
271					ウ 北原研究所病院									
272					(ア)	原告は、平成18年9月14日、...								
273					(イ)	宮田医師は、平成18年9月14日、原告の病名をシックビルディング症候群と診断								
274					2 争点(1) (本件事故による原告のVOC被曝と原告の発症との因果関係の有無)について									
275					(1)	化学物質過敏症及びMCSについては、...								
276					(2)	本件診断基準の該当								
277					(3)	化学物質暴露の有無								
278					ア VOC濃度									
279					(ア)	音楽室・書道室について								

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N
1														ページ
280					(イ) 北東3階のホールについて									p51
281					(ウ) 美術室及び美術準備室について									p52
282					(エ) 西棟5階について									
283					(オ) TVOC									p53
284					イ 原告のVOC被曝									
285					(ア) 音楽室・書道室									
286					(イ) 北東3階ホール									p55
287					(ウ) 美術室・美術準備室									
288					(エ) 西棟5階									p56
289					(4) 原告の症状の経過									
290					ア 原告は、平成17年1月頃から、自律神経に不調を来し、その具体的な症状は、...									
291					イ 原告は、前記認定事実(7)アのとおり、平成17年7月に有機溶剤健康診断を受信し、...									p57
292					ウ 原告は、前記認定事項(7)ウのとおり、平成18年9月に北里研究所病院を受診し、...									
293					(5) 総合判断									
294					原告は、平成18年9月に宮田医師より化学物質過敏症との診断を受けているところ、原告が該当しているとさ									
295														
296														
297														
298					3 争点(2)(安全配慮義務違反の有無)について									p59
299					(1) 原告の症状が、化学物質過敏症ないシックハウス症候群であると認めることはできず、また、...									
300					(2) 原告は、被告において、安全配慮義務として、作業環境測定や本件防水工事についての検査を...									
301					(3) 前記前提事実(2)ウによれば、本件事故の際、屋上スラブのクラック処理が適切に...									
302					(4) したがって、原告の安全配慮義務違反の債務不履行に基づく損害賠償請求は理由がない。									p60
303														
304														
305					4 争点(3)(本件事故について被告に「設置または管理の瑕疵」が認められるか)について									
306					上記前提事実(7)イのとおり、室内濃度指針値は、現時点で入手可能な毒性に係る科学的知見から、ヒトがその濃度を一生涯にわたって摂取しても、健康への有害な影響は受けまいであろうと判断される数値であり、...									
307														
308														
309														
310														
311														
312					5 結論									p61
313					以上によれば、原告の請求は、その余の点について判断するまでもなく理由がないからこれを棄却することとし、主文の通り判決する。									
314														
315														
316														
317														
318					横浜市地方裁判所第7民事部									
319														
320					裁判長裁判官									
321					裁判官									
322					裁判官									
323														
324														
325														p62